

「第2回向こう三軒両隣防災懇談会」講演&フィールドワーク

『みんなで学び、確かめよう「森本・富樫断層帯」』 実施報告書

【実施日時】 平成29年9月10日（日）15時～17時30分

【実施場所】 （講演）伏見台公民館1階大ホール
（フィールドワーク）高尾台町会内及び周辺エリアの断層帯巡検

【参加者】 1丁目 16名
2丁目 19名
3丁目 18名 計53名 +高尾新町3名 【総計 56名】

【実施概要】 （詳細は別添実施要領のとおり）

13時50分～ IDPTメンバーにより、会場設営などの準備を行う。

15時00分～ 講演開始

【講師】 金沢大学理工学域自然システム学系
教授 平松良浩 氏

【演題】 「森本・富樫断層帯で地震が起こったら」

講演概要は、別添資料のとおり

(感想) 平松教授は、最近よくテレビに出演されていることもあり、パワーポイントを使っての説明はとてもわかりやすくなるほどと思うことがたくさんあった。個人的に印象に残った話は、活断層の真上だけが危ないというわけではないということ、断層の上に家があるからダメだとか、少し離れているから安心というような単純な仕組みではないということ、また、「公助、共助、自助」とよく言われるが、まず重要なのは「自助」である。自分が大丈夫でないと「共助」なんてできないということであった。

16時00分～ 講演終了。

参加者全員で後片付けをした後、

16時30分～ 1丁目から順次、フィールドワークに出発した。

解説ポイントは、5か所あり、計画では、各丁目に分かれて、それぞれ3回ずつ平松教授の話を聞くことになっていたが、現場の状況等に応じ、ポイントによっては、合同で話を聞くなど臨機応変に対応した。

17時30分頃 ほぼ予定どおりの時間に、事故もなく、無事終了した。

「第2回向こう三軒両隣防災懇談会」実施要領

第2回「向こう三軒両隣防災懇談会」講演&フィールド・ワーク

みんなで学び、確かめよう「森本・富樫断層帯」

実施日:平成29年9月10日(日)15時00分~17時30分

場 所:伏見台公民館1階大ホール(定員:70名)金沢市窪5-675

講 演:15時00分~16時15分

(演題)「森本・富樫断層帯に地震がおこったら」

(講師)金沢大学理工学域自然システム学系 教授 平松良浩 氏

フィールド・ワーク:16時30分~17時30分

伏見台校下並びに高尾台町会内 森本・富樫断層帯巡検

●IDPTメンバー(20名)13時50分に公民館集合⇒全員で設営

●13時40分清水・北川会館で竹内さん待ち待機(当日資料・ハンドマイク積み込み)

●当日配布資料・ハンドマイク・飲み物、竹内さん車にて搬入

13時50分 伏見台公民館1階大ホール集合・到着後講師&技師駐車スペース確認・空調・スリッパ・雨天時傘立て

14時00分 撮影技師着 (DIGICAM製作部 宇良将志氏)

会場設営 スクリーン+正面右に講師席(パソコン操作との関係、現場対応)

椅子57脚(横3列x6行+x7行+x6行)+講師席+技師席

オーディオセット(DIGICAM事前確認・当方は設定ノータッチ)

プロジェクター(RGB VGAケーブル15ピン)

受付設営 当日配布資料+飲み物x2/人

14時30分 講師着 金沢大学理工学域自然システム学系 教授 平松良浩 氏

パソコン持参・接続・映写確認・ビデオカメラ位置調整

14時45分 受講者来場 着席誘導(丁目別に3ブロックに分かれて、入口よりに1-2-3丁目)

14時55分 司会者 「講演会開始5分前、今、しばらく着席にてお待ち下さい」

15時00分 司会者 「定刻になりましたので…本日の講師の先生をご紹介します…」

15時03分 講演開始

16時00分 講演終了

~16時15分 講師による巡検Point説明+司会による注意事項+誘導者(各丁目4名)紹介

●16時15分~16時20分 参加者全員で後片付け撤収

●16時20分 IDPT4x3=12名がまず、先に外へ出て待機

●16時25分 講師・技師が退出し巡検へ(講師補助並びに技師補助は一緒に行動)

●1丁目から順次退出します、1丁目退出5分後に2丁目退出、その5分後に3丁目

●公民館裏駐車場の通りを歩いて理容プラージュ駐車場辺りに集合

●各丁目集合を確認したら説明Point①を指して出発(ルートは地図と役割表参照)

●2列縦隊で前に誘導者2名、最後尾に2名で出発下さい

●各丁目で各1台、合計3台使用します(最後尾で持って下さい)

●ハンドマイクにて安全確保をお願いします「自転車を通ります」等早めに案内下さい

●添付の巡検ルートマップ及び役割分担表でルートは事前確認下さい

●Point1 高尾1丁目47付近

●Point2 高尾1丁目252付近

●Point3 高尾南1丁目10~8付近

●Point4 高尾~高尾台3丁目250付近

●Point5 高尾台1丁目308付近

富樫断層を観察しよう

地形の傾斜の変化点に活断層の線が引かれています。実際の地形を観察して活断層が通っている（と考えられている）場所を確認しましょう。



● 説明ポイント

注：活断層の上だからといって、地震が起こったときの危険性が最も高いわけではありません。